

つて奮闘する。

9、祝辭祝電

○祝電 全農總本部外二十一通

○祝辭 日本石炭坑夫組合 小野 某

全農福佐聯合會 岩田 重藏

政治的な意見の齟齬から同志であり乍ら手を握り得なかつたのが田原氏の骨折で今日其の日の來つた事を喜ぶ、福佐二千の農民も同じ心持だ相助けて固く團結しフアツシヨに向つて斷乎起上らねばフアツシヨ撲滅は出來ない同じ釜の飯を食ふ事になつた諸君に一音挨拶する。

無産縣會議員代表 野口 彦一

法律を吾々の爲めに改訂すると言ふ處に無産政黨が出來たのである十年前の會合と今日の懸やかかな會合を比べ

て見て從來吾々が取つて來た道方は間違つてゐなかつたのである、三名の議員から五名となり參事會員も安々と花山君を送ることが出來た少數乍ら一致協力して無産運動、農民運動の爲に闘ふ。

全農本部 代議士 黒田 壽雄

全農が二つに分れ力を弱め乍らも無産運動の危機の中に且つ暗澹たる社會抑壓の中に農民組合を守つて來たのである然し等しく期待した福佐との統一は事實上出來上つたのである。我國の土地制度の矛盾、土地私有制度に對し小作人の爲に闘ふ團體は只全農あるのみだ、土地返還に對しては實力では勝ち得るが權利迄は得てゐない、新開に依れば小作法の制定も今日では寧ろ避けて居る模様である、米の植段を吊上る事のみで百姓は救はれない、